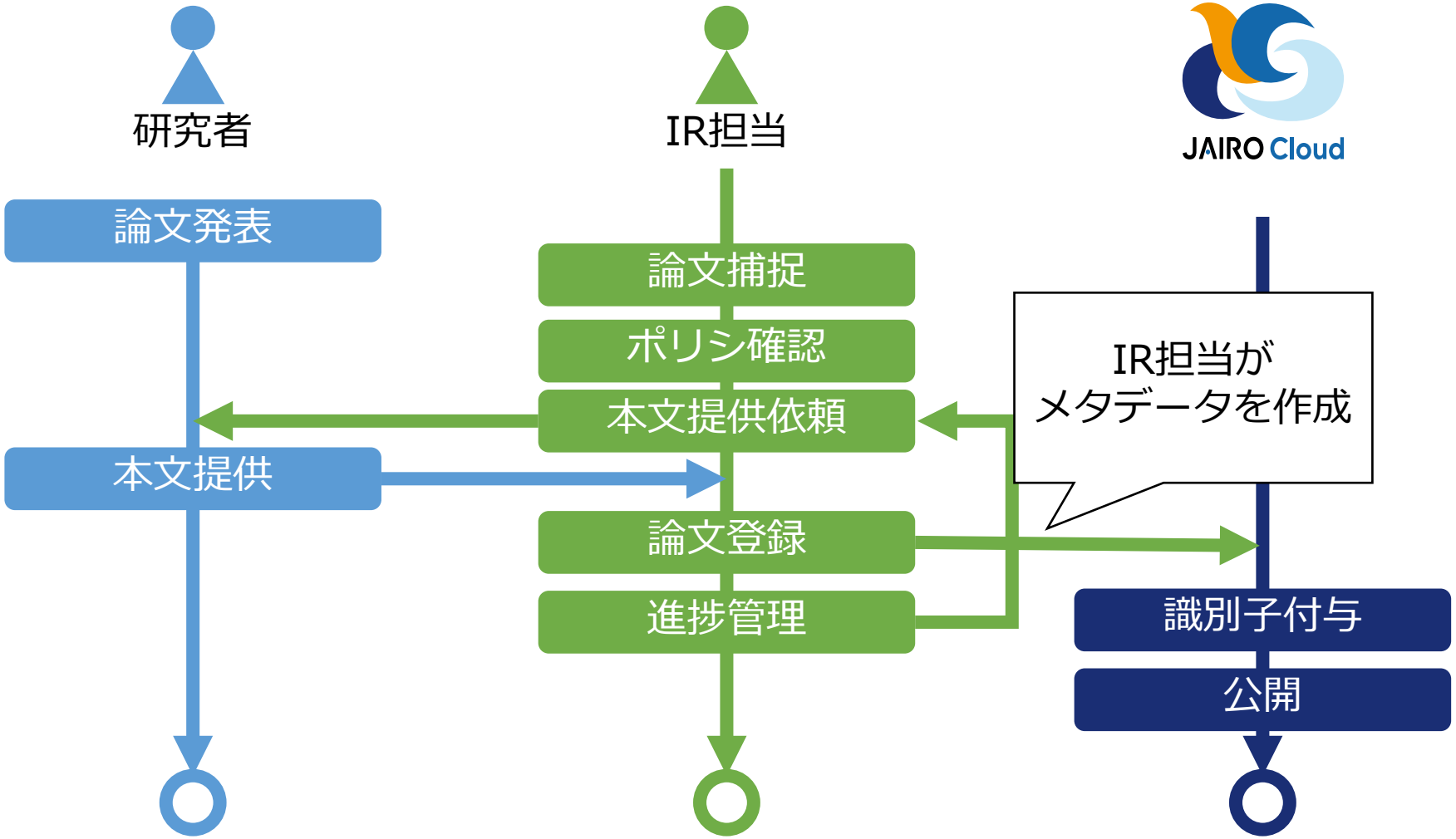
GJ連携：JAIRO Cloudパート

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
林正治

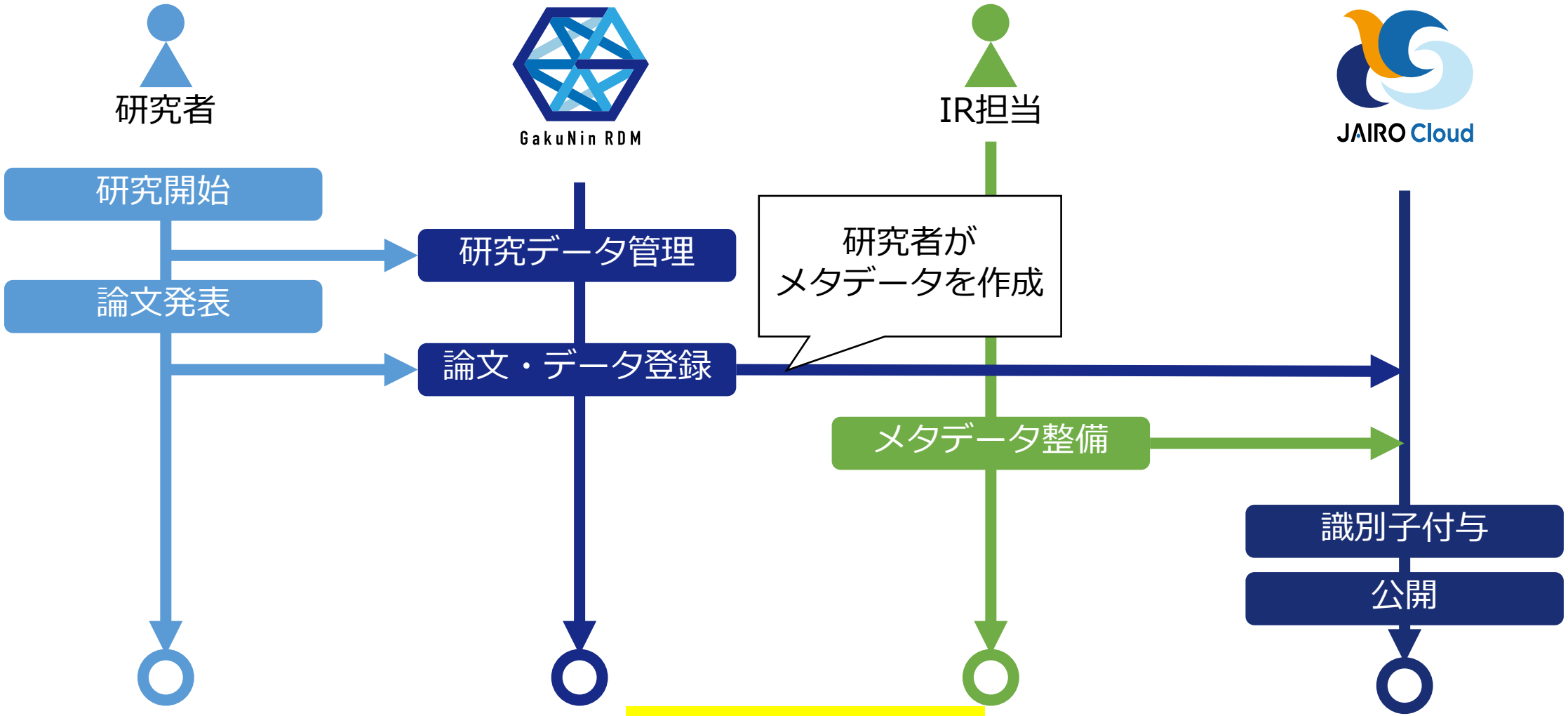
© 2025 National Institute of Informatics

これまでは機関リポジトリ担当が論文のOA化を主導



IR担当にOA化業務が集中、
OA義務化により業務量増に不安

これからは研究者と機関リポジトリ担当が協力してOA化

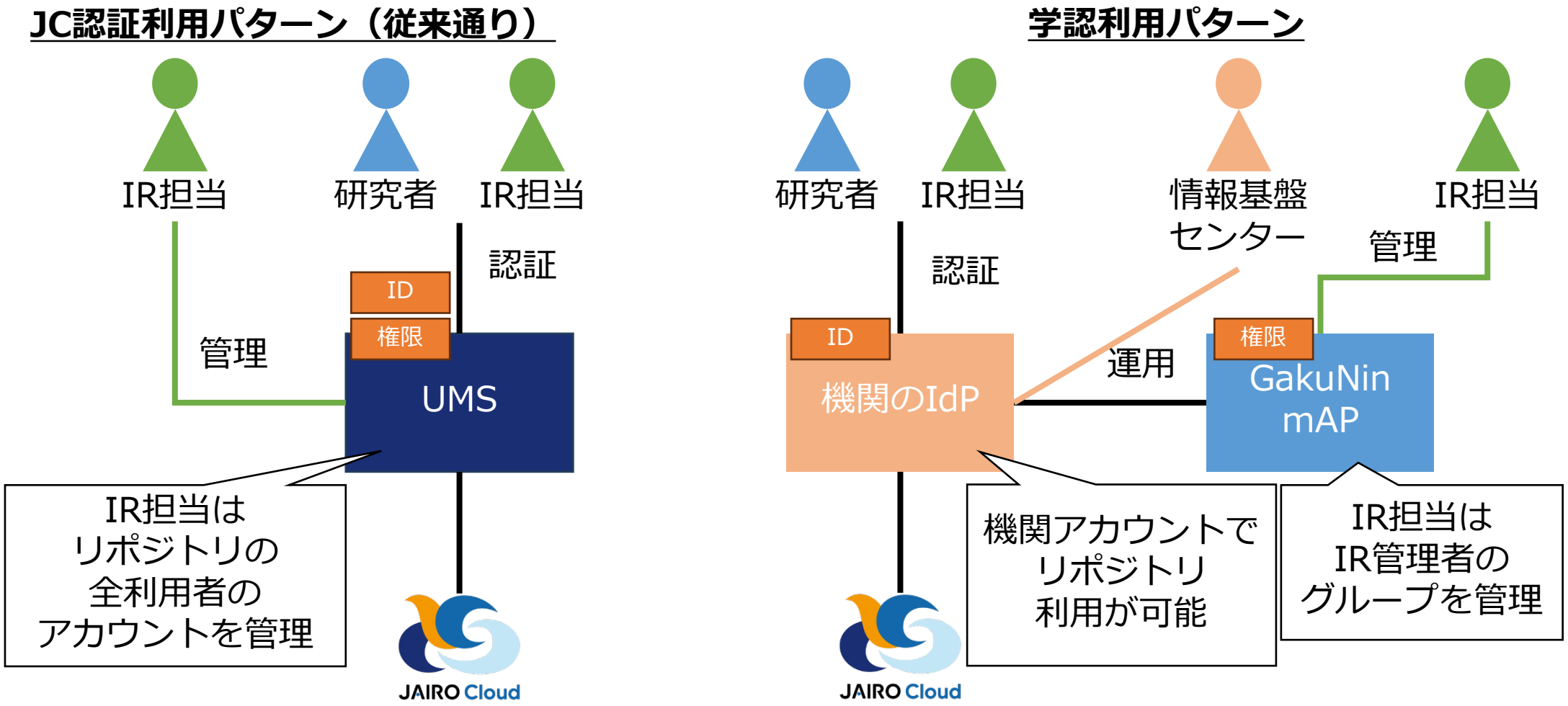


誰よりも内容に詳しい研究者自身に協力してもらうことで、
公開作業にかかる時間と手間を大きく軽減

GJ連携をはじめるためにJAIRO Cloud側で必要なこと

- **IR担当**
  - JAIRO Cloudの認証方法を選択
- GakuNin RDM担当
  - IR担当にJAIRO Cloudとの連携を依頼
- **IR担当**
  - 依頼内容に基づきClient IDとClient Secretを発行
  - GJ連携に利用するワークフロー、マッピングを設定
  - GakuNin RDM担当に発行したClient IDとClient Secretを送付
- GakuNin RDM担当
  - 発行されたClient IDとClient SecretをGakuNin RDMに設定

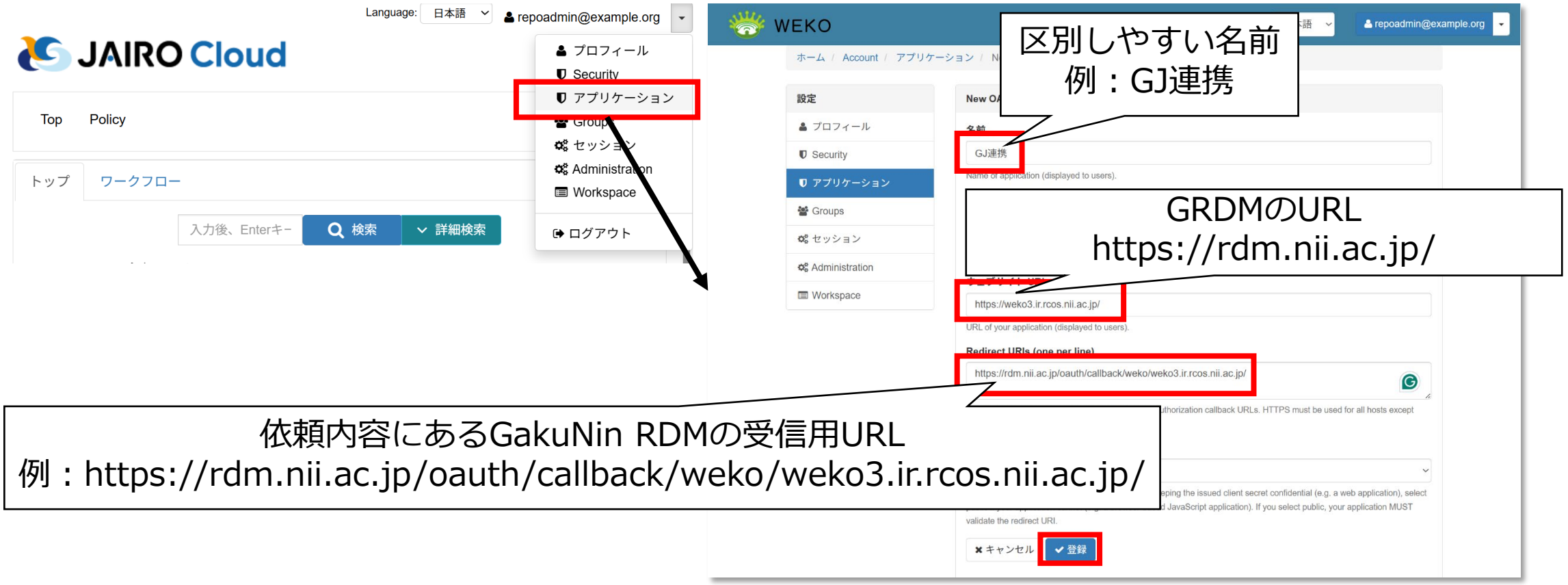
JAIRO Cloudの認証方法を選択



研究者によるセルフアーカイブを検討の機関は
是非学認参加の検討をお願いします

依頼内容に基づきClient IDとClient Secretを発行①

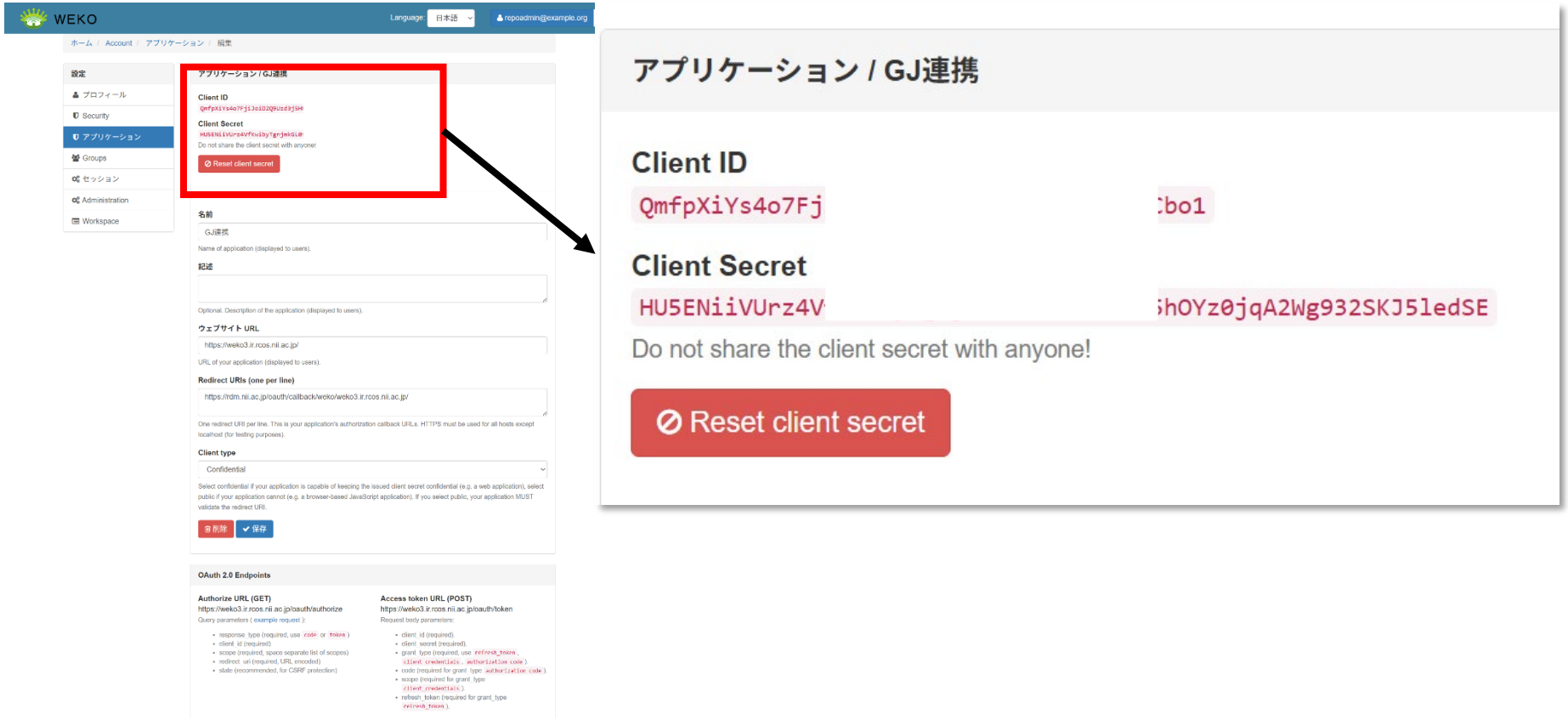
- IR担当としてログイン、ユーザメニューからアプリケーションを選択
- 依頼内容をもとにClient ID とClient Secretを発行



依頼内容にあるGakuNin RDMの受信用URL
例：https://rdm.nii.ac.jp/oauth/callback/weko/weko3.ir.rcos.nii.ac.jp/

画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

依頼内容に基づきClient IDとClient Secretを発行②



発行されたClient IDとClient Secretを
GakuNin RDM担当に共有（取り扱いに注意）

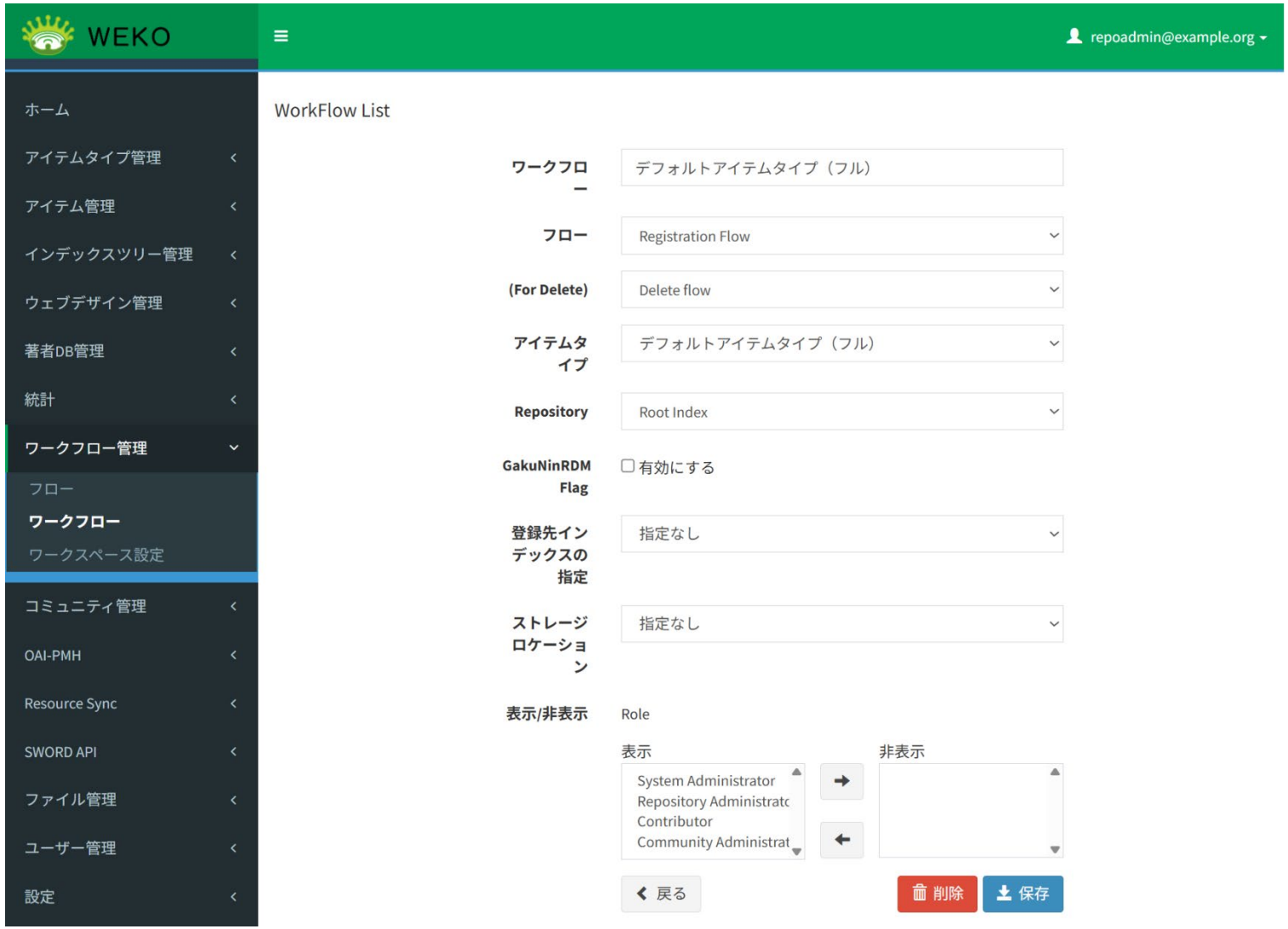
画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

GJ連携に利用するワークフロー、マッピングを設定①

- 管理画面のメニュー「SWORD API>JSON-LD」を選択
- 作成タブをクリックして設定

画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

GJ連携に利用するワークフロー、マッピングを設定②



画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

GJ連携に利用するワークフロー、マッピングを設定③

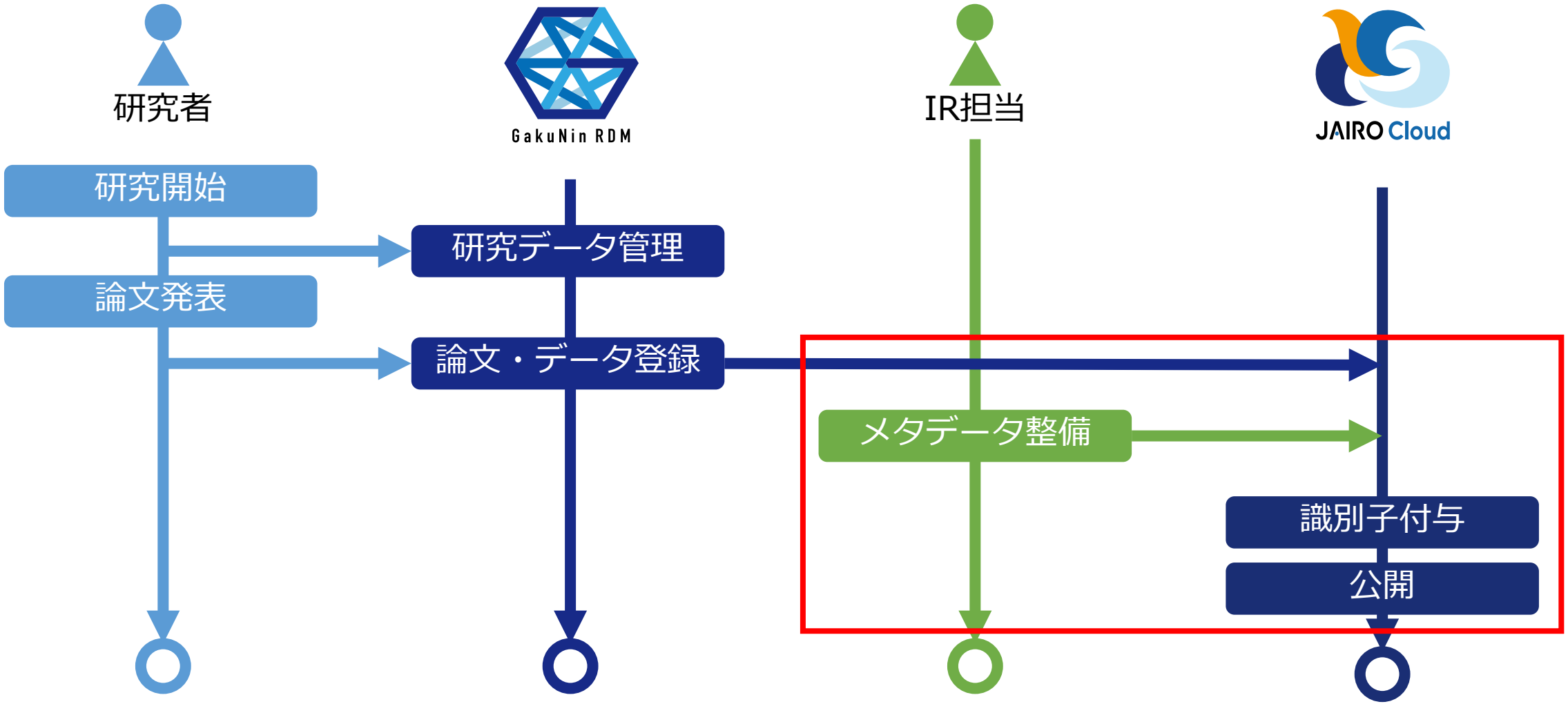
画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

DEMO

GJ連携をはじめるためにJAIRO Cloud側で必要なこと

- **IR担当**
  - JAIRO Cloudの認証方法を選択
- GakuNin RDM担当
  - IR担当にJAIRO Cloudとの連携を依頼
- **IR担当**
  - 依頼内容に基づきClient IDとClient Secretを発行
  - GJ連携に利用するワークフロー、マッピングを設定
  - **GakuNin RDM担当に発行したClient IDとClient Secretを送付**
- GakuNin RDM担当
  - 発行されたClient IDとClient SecretをGakuNin RDMに設定

これからは研究者と機関リポジトリ担当が協力してOA化

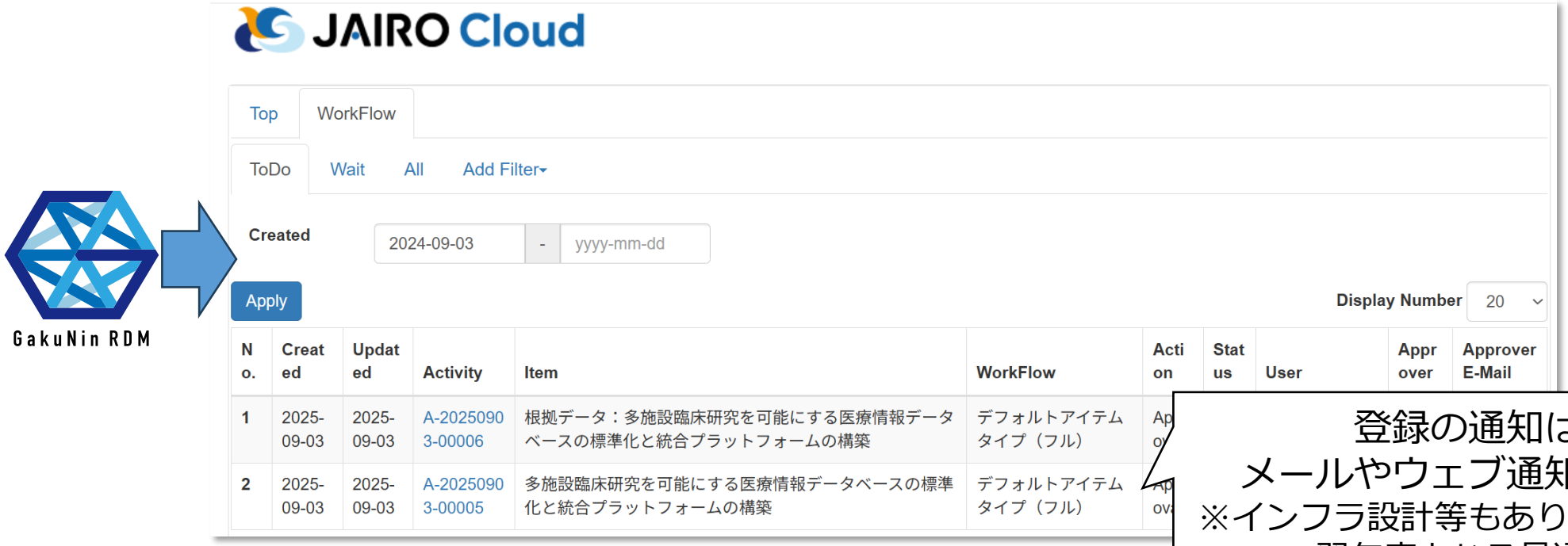


GJ連携後に必要なこと

- **スタート**
  - GakuNin RDM経由で論文および根拠データが登録
- **IR担当**
  - 登録内容を確認、必要に応じて修正、公開
  - 必要に応じて研究者に公開を連絡
- **研究者**
  - 研究者用ワークスペースで登録内容を確認

GakuNin RDM経由で論文および根拠データが登録

- GakuNin RDMからの登録は論文と根拠データが分離登録
  - CiNii Researchの様式（A）



登録の通知は
メールやウェブ通知を想定
※インフラ設計等もあり提供時期は
翌年度となる見込み

画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

研究者用ワークスペースで登録内容を確認

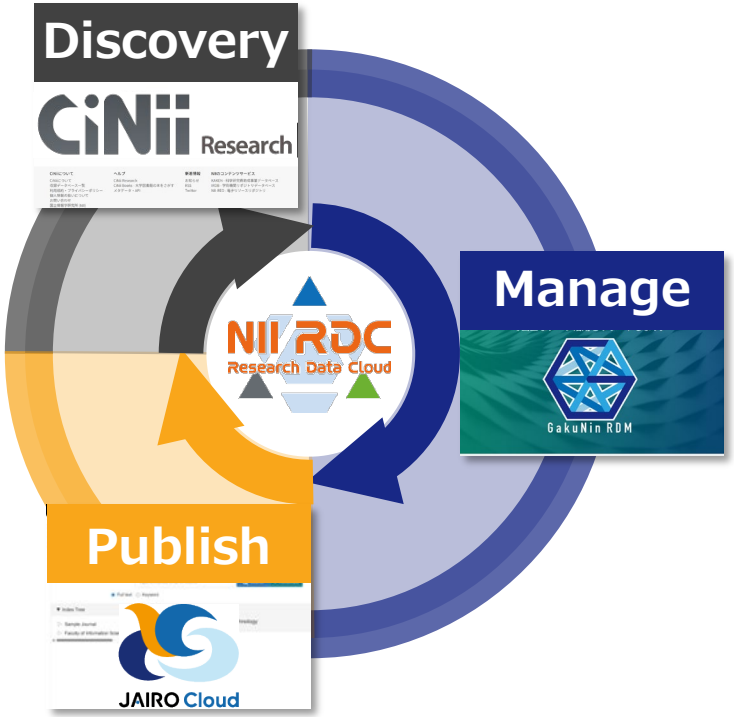
登録者、代理登録者として紐づけられたアイテムを表示

画面は開発中のものです。
実際の画面とは異なる可能性があります。

DEMO

GJ連携

研究者と機関リポジトリ(IR)担当が
協力して手軽にミスなく
論文および根拠データを
機関リポジトリに登録できる機能を提供



年度末のリリースを目指して準備中。
最新情報は、RCOS公式サイト(https://rcos.nii.ac.jp/)等で発信していきます。